

2024年 入学式式辞 要旨

本日、東洋大学附属牛久中学校第10回入学式、牛久高等学校61回入学式にあたり、一言ご挨拶いたします。ご来賓、保護者の皆様のご臨席をいただきまして、盛大かつ厳粛に挙行できますことは、本校として慶びとするところです。心より厚く御礼申し上げます。

ただ今、担任の先生から氏名を呼ばれました中学校66名、高等学校618名の新入生の皆さん、入学、おめでとうございます。保護者の皆様におかれましてもお子様のご入学、誠におめでとうございます。私たちは、皆さんの入学を心より歓迎いたします。

今から60年前の今日、1964（昭和39）年の4月9日に、東洋大学附属牛久高等学校は第1回の入学生、一期生を迎えました。本校の誕生です。本校は、姫路高校に次いで、現在では東洋大学の二番目の附属高校としてこの地に創立されました。創立当時、体育館は建築中で、土のグラウンドで新入生・一期生は起立したままの入学式でした。中学校は2015（平成27）年に開校して、今回十期生を迎えることとなりました。

今年は甲辰（きのえたつ）の年です。甲乙丙丁戊己庚辛壬癸という十干と、子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥の十二支を組み合わせて、年や時刻、方角などを表しています。

十干十二支の組み合わせは、十と十二の組み合わせで、全部で六十通りあります。六十回を過ぎると同じ組み合わせになるので、還暦一暦が巡るということになり、人間では六十歳が年齢の一つの区切りになります。六十年前の甲辰の年に創立された、本校もめでたく還暦を迎えました。暦は繰り返しますが、これから入学された皆さんとともに新たな歴史を歩み、新たな伝統をつくっていきたく考えています。

哲学館・東洋大学を創立した井上円了先生は、19世紀末から24年間で3回世界周遊の旅に出かけました。最初の欧米視察では「欧米各国のことは日本に安座して想像するとは大いに異なるもの（海外のことは日本にいて想像するだけではなく、実際に見て体験しないとわからない）」として、「体感」の必要性を実感され、現実世界を活きたテキストとして学び、活きた学問とする「活書活学」を提唱されました。さらに、「諸学の基礎は哲学にあり」として、「独立自活」「知徳健全」の精神を培うことを目指してきました。

井上円了先生の建学の精神を基礎として本校の教育目標は、

- 一 知的好奇心と高い志をもち、自ら考え、自ら行動する意欲溢れる生徒の育成
 - 二 深く考える力と本質に迫る健全な批判精神を培い、将来社会に貢献できる人材の育成
- を目指しています。

また、教育方針の三に「魅力ある教育活動を展開し、地域社会に貢献する」として、具体的には、「国際理解教育」、「理数科教育・環境教育」、「中・高・大・地域の連携教育」の推進を掲げ、グローバル人材育成のための研究開発、及びその実践に力を入れてきました。

また、これからは将来を見通したキャリア形成のために、哲学教育を基礎に、探究的な学習の推進と、文理融合の課題解決型STEAM教育を進めるとともに、アントレプレナー教育の展開や、附属校である特性を生かして東洋大学との連携教育を強化するとともに、つくばの研究機関やJICAとの連携からサイエンス教育を充実させ、物事の本質に迫る教育を進めて参ります。

自ら学び、これからのグローバル社会でたくましく生き抜くとともに、自立した社会人として積極的に自分の役割を果たす人間になること。地球規模での課題を解決していくためには、21世紀に生まれ、21世紀の社会を支えていく皆さんの一人一人の力にかかっています。

ここで、アメリカ合衆国のアフリカ系アメリカ人、公民権運動の指導者として、有名なマーティン

＝ルーサー＝キング牧師の有名な演説

「I Have a Dream (私には夢がある)」の一節を紹介します。

I Have a Dream (私には夢がある)

それはいつの日か、ジョージア州の赤土の丘でかつての奴隷の息子たちとかつての奴隷所有者の息子たちが、兄弟として同じテーブルにつくという夢である。

I Have a Dream (私には夢がある)

それはいつの日か、私の4人の幼い子どもたちが、肌の色によってではなく、人格そのものによって評価される国に住むという夢である。

I Have a Dream (私には夢がある)

それはいつの日か、あらゆる谷が高められ、あらゆる丘と山は低められ、でこぼこした所は平らにされ、曲がった道が、真っ直ぐにされ、生きとし生けるものがその栄光を共に見ることになるという夢である。

これが我々の希望である。この信念があれば、我々は絶望の山から希望の石を取り出すことができる。

自由の鐘を鳴り響かせよう。そして、あらゆる山々から自由の鐘を鳴り響かせよう。自由の鐘を鳴り響かせよう。

今から60年以上前はアフリカ系アメリカ人への差別はひどいものがありました。それを少しずつ変えていったのが、キング牧師をはじめとする公民権運動の人々です。この演説の引用に当たって、日本でのアメリカ合衆国の情報・文化を発信する公的機関「アメリカンセンター」のホームページからとりました。アメリカンセンターには、「米国の歴史と民主主義の基本文書」の紹介があり、独立宣言、合衆国憲法や、大統領のスピーチ原稿等が18本掲載されていますが、一民間人の演説は、キング牧師の演説だけです。

それだけこの「I Have a Dream」の演説は、アメリカ合衆国以外の人々の心も動かす普遍的な内容を持っているということになるでしょう。キング牧師は、本校創立の1964（昭和39）年に、その功績からノーベル平和賞を受賞しています。キング牧師のように自分のやるべきものを見つめ、そしてその理想を実現するために、努力を惜しまないことが大切です。

努力をすれば、「Yes! We Can!」（そう私たちはできる）。

アメリカのオバマ元大統領が就任したときのキャッチフレーズになります。

「I Have a Dream」そして「Yes! We Can!」

さて、保護者の皆様、お子様のご入学、改めて誠におめでとうございます。子どもたち自身も、今日のこの日を迎えて、一歩大人に近づいた、成長したということを実感していることと思います。

子どもたちの健やかな成長のためには、学校・家庭・地域の三者が、それぞれ連携していく必要があります。お子様の学校生活で、ご心配やまたご不安なことがあれば、どうぞ遠慮なくご相談ください。私どもは、保護者の皆様とともに、子どもたちの豊かな成長を助けていきたいと考えています。そして、6年後、3年後には成長した姿を祝っていただきたいと思っております。

結びに、保護者の皆様、本校の教育に、一層のご理解とご協力を賜りますよう改めてお願いを申し上げます。本校に対する皆様方のご期待に応える教育を進めていくことを、ここにお誓い申し上げて式辞といたします。